



あったかハート推進週間の取組（9月）

今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

9月は、以下の内容で道徳科の授業を行いました。

月	期 間	内 容
9月	9/2（月）～6（金）	道徳科の授業② 内容項目：友情, 信頼（低学年）、相互理解, 寛容（中・高学年）

1 実際の授業

【3年生】



3年生は「みんなの学級会」を読み、自分とは異なる考えをもつ相手を理解して行動するにはどうすればよいかを考えました。「みんなの学級会」では、転校する「ともき」のために、どのようなお別れ会にしたらよいかと話し合いが行われます。クラスのみんなも「ともき」も楽しめる出し物についての提案がいくつか出されるのですが、意見が割れてしまうというお話です。

3年生では、以下のような考えが出ました。

- ・相手と意見が違ふときには、全部ゆずってしまうと自分の考えがなくなってしまうから、自分の意見も大切にしながら、優しく「どうする？」と相手の考えを聞こうと思いました。
- ・友達と言ひ争ひになったら、交代で意見を聞き合うなどして、みんなが気持ちよくけんかにならないようにしていきたいです。

2 各学年で行った授業の感想

- ・友達の気持ちを考え、約束を守る人になりたいと思いました。（1年生）
- ・自分も相手も「ごめんね」という気持ちにならないと仲直りはできないと思いました。（2年生）
- ・相手が失敗しても、相手を責めるのではなく、「自分もそんなことがあったかも」と振り返るチャンスにしたいと思いました。（4年生）
- ・相手の考えを知ろうとする心を大切にしながら、自分の考えも大切にしていけることが大事だと思いました。（5年生）
- ・さまざまな人が笑顔になるには、それぞれの条件や立場を理解して、その人に合った方法を考えることが大切だと思いました。（6年生）

どの学年からも、「相手の立場や気持ちを理解する大切さ」について考えを深める様子が見られました。今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。